

沿岸重要資源調査^{*}

武田 保幸・阪本 俊雄

目 的

昭和60年度南西海区沿岸重要資源調査要綱に基づく。

調査内容及び調査方法

1. 調査地及び調査対象漁業

比井崎…中型まき網（2そうまき計2統）

田 辺…中型まき網（2そうまき計7統）

南 部…中型まき網（1そうまき12統、2そうまき1統、計13統）

串 本…中型まき網（1そうまき計6統）

宇久井…定置網

調査要綱では指定調査地は田辺漁協、南部町漁協であるが、外海浮魚資源の調査として上記2漁協の他に比井崎、串本、宇久井も調査対象とした。

2. 調査対象魚種

イワシ類…カタクチイワシ、ウルメイワシ

ムロアジ類…マルアジ、モロ、オアカムロ、アカアジ

カツオ、マグロ類…カツオ、ソウダカツオ

その他…サンマ、スルメイカ

上記調査魚種のうちカツオ、サンマは本調査の対象外であるが、2種とも本県沿岸漁業の重要対象資源となっていることを考慮し、調査対象に含めた。なお、マルアジについては本年度の「沿岸重要漁業資源の管理に関する研究」でその年齢・生長等の集中的な調査を行なったので本誌で別途報告する。

3. 調査内容

生物調査…田辺、南部、串本、宇久井の各市場で水揚げ時にできるだけ漁獲物の体長組成を代表するように体長測定を行なった。また漁獲物中から適当数を採集し、精密測定（体長、体重、生殖腺重

^{*}漁業資源調査費による。本調査内容のすべては南西海区水産研究所外海資源部に提出し、また昭和61年3月の水産資源担当者会議において報告した。

量)を行なった。精密測定を行なった魚種はカタクチイワシ、ウルメイワシ、マルアジ、オアカムロである。なお比井崎ではおもに市場調査員によって体長測定が行なわれた。

漁獲量、努力量調査…中型まき網漁獲成績報告書により各市場について魚種ごとの月別漁獲量、漁獲努力量を集計した。

結 果

各魚種の体長測定状況は表1のとおりである。採集日ごとの体長組成は資料4に整理した。また本年度のカタクチイワシ、ウルメイワシの体長組成の経月変化を図1、図2に示した。

努力量調査結果は本誌200カイリ水域内漁業資源総合調査において別途資料1、2、3に示した。

表1 各魚種の体長測定状況

魚種	尾. 1985.4~1986.3												計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
カタクチイワシ	183	247	61	207	543	123	412	238				105	2,119
ウルメイワシ	364	284	609	669	239	277	1,390	361	145				4,338
カ ツ オ						114	56	54					224
ソーダガツオ					397	174	200	130					901
サ ン マ									359	382	57		797
マ ル ア ジ	339	919	796	1,331	751	591	1,211	1,505	821	334	708		9,306
モ ロ	94				416	185				25	80		800
オアカムロ	424			60	206				67				757
アカアジ	157												157
スルメイカ							134	100	88		118		440

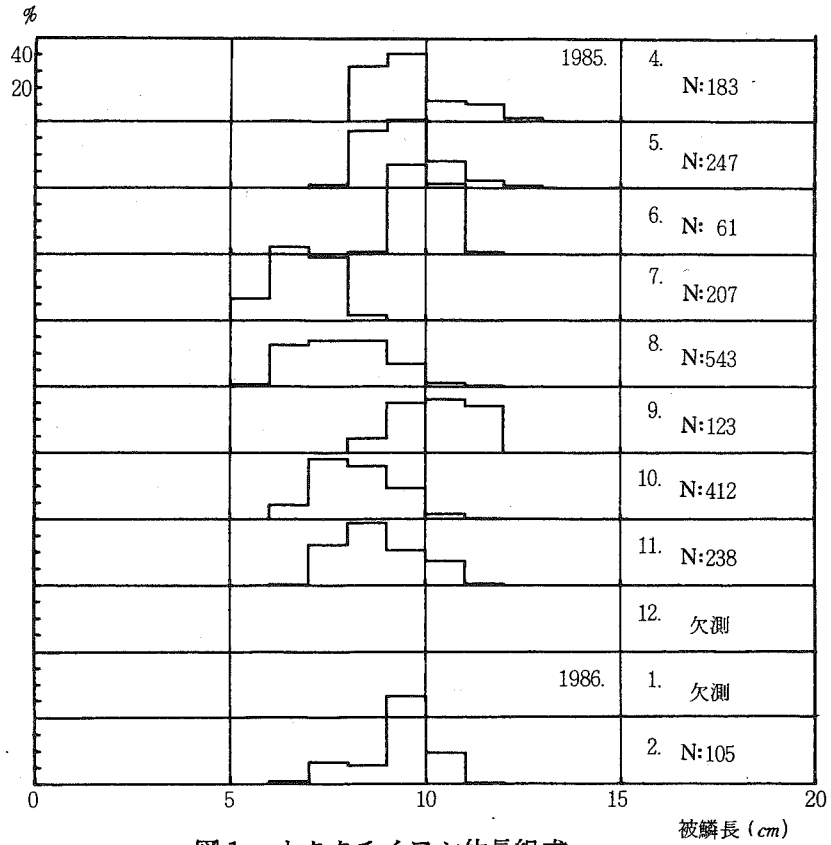


図1 カタクチイワシ体長組成

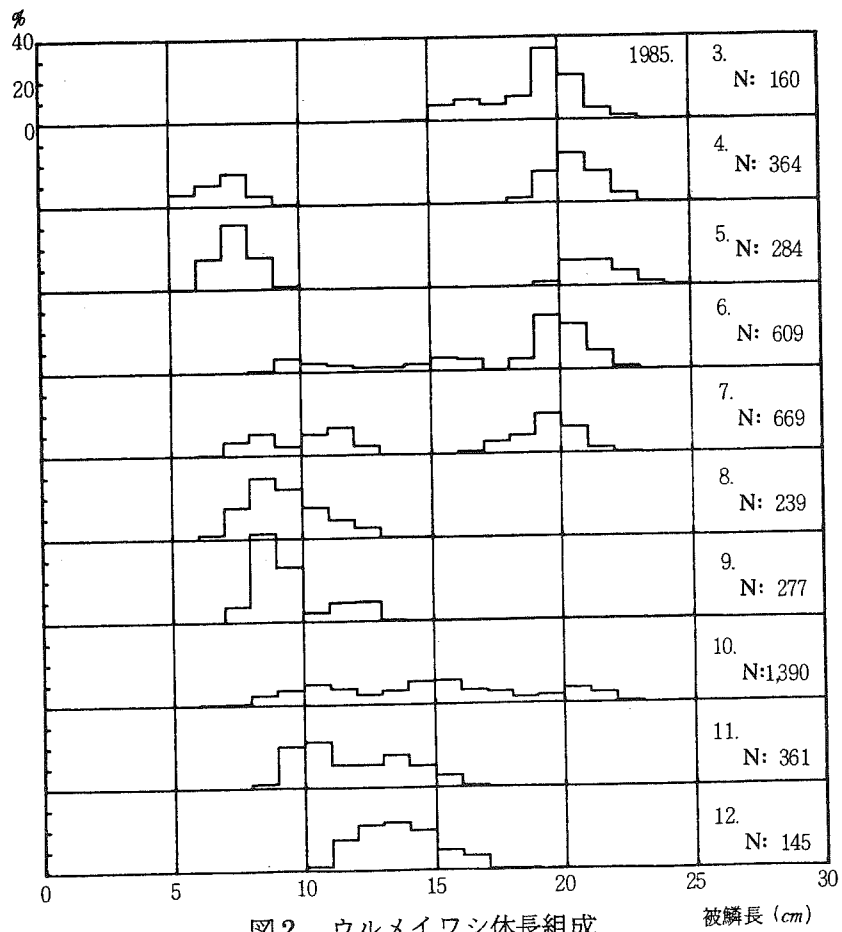


図2 ウルメイワシ体長組成